

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和4年9月27日(火) 午後1時30分開会 午後3時00分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	後藤 博 北野 晃 内田正俊 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 田辺暁己 小関京子
欠席委員(者)氏名	山畑雅浩 野田あさ子 幸森康夫 森山治代
説明者の職氏名	大久保社会教育指導員 大橋社会教育課主事
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議事項 (1) 地域と学校の協働活動について 5 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当課からの報告 6 その他 ・「地域づくりに向けたアンケート」の回答について ・次回会議の日程について 7 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、佐藤教育部次長、吉川社会教育課長、 澤田博物館長、平岡図書館長、 片寄社会教育課副主幹、大橋社会教育課主事、大久保社会教育指導員

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 協議事項

- (1) 地域と学校の協働活動について 事務局 大久保社会教育指導員、
大橋主事より説明

2 報告事項

- (1) 各委員からの活動報告
(2) 教育部社会教育担当課からの報告

①社会教育課

吉川社会教育課長

(i) 報告事項

- ・令和5年入間市二十歳の集い

日 時：令和5年1月9日(月・成人の日)

会 場：産業文化センター ホール

3部制で行う 第1部 豊岡・黒須地区 10:00~10:35

第2部 東金子・藤沢地区 11:30~12:05

第3部 金子・宮寺・二本木・西武地区

13:30~14:05

(ii) 配付資料

- ・人権啓発講座
- ・いるま学びの場
- ・入間市民コンサート

②博物館

澤田博物館長

(i) 報告事項

- ・アリットげんき市
- ・西洋館写真撮影会「ぬい撮り in 西洋館」
- ・講座「西洋館時代のコーヒーに想いを馳せる」
- ・七五三撮影会 in 旧石川

(ii) 配付資料

- ・「NEWS-ALIT」 第106号
- ・アリットげんき市

③図書館

平岡図書館長

(i) 報告事項

- ・「チャレンジ! 読書ラリー」
- ・ブックツリーを育てよう!

(ii) 配付資料

なし

3 その他

- ・「地域づくりに向けたアンケート」の回答について
- ・次回会議の日程について
第3回 令和4年11月17日(木) 午後2時00分より
入間市教育センター会議室

4 閉会

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
齋木議長 大久保社会 教育指導員 齋木議長	協議事項(1)地域と学校の協働活動について、事務局より説明を願う。 「コミュニティ・スクール理解のために」の資料に沿って説明 何か質問はあるか。なければ、グループ協議に移る。協議について事務局から説明をお願いする。
大橋主事	今後、コミュニティ・スクールの設置や地域学校協働活動の導入が始まり、地域と学校が協働して課題に取り組むことが重要になるため、今回は、地域と学校が現在抱えている課題、その課題に対して協働してできることなどについて、このグループ協議の中で話し合ってください。グループ協議後、協議内容を2分以内で発表をしてください。今回の協議内容の結果は事務局でまとめ、入間市における地域と学校の協働活動の方向性を示すための資料とさせていただきます。
齋木議長	それでは指定されたグループに入り協議をお願いする。 ～グループ協議～ ～グループ協議終了～ 各グループで協議した内容を1、2分で簡単に発表をお願いする。 まずAグループから発表をお願いする。
佐藤委員	1番の教育現場が抱えている課題ですが、不登校の問題それに加えて学力向上の問題、今までのように先生が教えるだけの教育ではうまくいかない。 先生の人数に制限があり、一人一人の子どもへの対応が難しい。 保護者の価値観が多様化していて対応が非常に難しい。 2番の地域が抱えている課題では、家庭力の低下ということで、当たり前なことを当たり前として教えてもらっていない子どもたちもおり、それを支えている近所の付き合いも希薄になっている。 自治会の加入の低下や、ママ友、ママサークルの付き合いも最近は少ないのではないかと。保護者世代ではない方たちの学校を教育するという意識が薄いのではないかと、学校は少し敷居が高いのではないかと、という印象もある。 3番の課題解決のためにできることについては、今までやってきたボランティアは必要である、とお知らせする必要がある。子育て世代、今学校に子どもがいる世代とのつながり、今、赤ちゃんの子たちが大きくなったときに、つながりが持てるようなしくみがあるといいのではないかと。それが継続していくことを考えたほうがよい。継続するということでは、積極的な中心になる人がいると期待はできるかもしれないが、その方がおやめになった場合にうまくいかなくなるということがないよう、継続していくしくみが必要である。地域が学校に協力することはもちろんのこと、学校も地域に愛されるよう目指して、お互い歩み寄りができるようになるとういのではないかと。
齋木議長 根岸委員	次にBグループに発表をお願いする。 1番の教育現場が抱えている課題として、コロナ禍で欠席の敷居が下がっている。少し調子が悪いとお休みするので、欠席者が増えており、不登校が増えている。 2つ目に、保護者からの要望が増えている。もっとうちの子に配慮してください、などの要望が増えている。

発言者	発 言 内 容
齋 木 議 長 田 辺 委 員	<p>それから、生徒数の減少で、部活も合同で行っているところもある。生徒数が少なくなっている以上にやるが増えてしまっている。</p> <p>先生は大変な仕事ということで、学校の先生のなり手が少なく、でもやることはいっぱいあってとても大変である。</p> <p>2の地域が抱えている課題としては、コロナ禍で関係が希薄になっている。だれがどこに住んでいるかもわからない状況である。今までわかっていたことも今は地域内の情報が入ってこない状況にある。</p> <p>3の課題解決のためには、不登校の子が今とても生き生きと活動している子が多いという話を聞いた。学校に行かなくてはいけないというのがなくなり、気持ちが高くなってきている。そのかわりにいろいろなことを学びたい子が増えている。でも、受け入れ先がないため、もっと受け入れ先があるといいのではないかと、という話がでた。社会的に自立するのがゴールで、学校に行くのがゴールではないということを考えながら受け入れ先がたくさんできたらいいのではないかと。</p> <p>子どもが地域で学べる場所が多くなるといいのではないかと。学校はもっと地域を受け入れてほしい。地域と学校の相互の活動がもっとできるといいのではないかと。</p> <p>次にCグループに発表をお願いします。</p> <p>最初に、教育現場が抱えている課題について、高校現場では、学校に求められている役割が増えている。多忙化で教職員の労働時間が増えている。</p> <p>保護者対応が増えている。また、心身の故障を抱え、教員が休んでも代わりになる教員がいない。教員も高齢化していて生徒との年齢のギャップができています。</p> <p>ヤングケアラーなどの問題など、不登校ともつながっている傾向がある。</p> <p>中学校現場では、地域の協力者が多くよくやっていたが、年配の方が多いため、5年後、10年後は高齢化で厳しいのではないかと。</p> <p>幼稚園現場では、発達障害の子ども、グレーゾーンの子どもの多くで対応に苦慮している。親が孤立しているのが大きな問題ではないかと。</p> <p>自治会や老人会、子ども会など組織化したものの加入が少なくなっている。今回の学校運営協議会の話でもあったが、大事なことは予算配置。いい内容ではあるが、多様な問題があるので、お金をつけていただきたい。</p> <p>2番目の地域が抱えている課題については、先ほども課題に挙げたが、自治会やPTAなどの加入が少ない。一方で加入しないにも関わらず、要望が増えている。</p> <p>また、コミュニケーションが地域、保護者などの中で希薄になっている。</p> <p>また、学校評価についても話題が上がった。なかなか学校の現状を的確にとらえるのは難しいだろうということだった。</p> <p>3の課題解決のために協働してできることは、多様な課題があるが、第一は、学校の情熱、熱意を持ったPRが大事であること、できることをやっということ。組織化は難しいがゆるやかで、やりたい人がやるようなそういうレベルでいいのではないかと。継続していくことが大事ではないかと。あまり高みを目指さずに組織化していくのがいいのではないかと。</p> <p>人材発掘も大事で、現在サークルで活動している方なども発掘していけるとよいなどたくさんの意見がでた。</p>

発言者	発言内容
齋木議長	<p>各グループからの発表について、何か質問等あるか。なければ、協議事項（１）を終わりにする。</p>
齋木議長	<p>続いて、第５の報告事項に移る。各委員からの活動報告について、報告する方は挙手をお願いします。</p>
村野委員	<p>４月からおやこ de 先生の未来教室という活動をしている。</p>
村野委員	<p>子育て支援センターに通う親子と市内の中学校、高校と一緒に遊びに行くという事業で、１学期は武蔵中学校、上藤沢中学校、２学期は野田中学校、西武中学校、黒須中学校を予定している。地域と学校の協働についてのテーマとピッタリだったのでお話しさせていただいたが、学校に行ってもそこで交流をして、それが終わると道端で会っても声をかけあう姿が見られるので、とてもいい事業だなと思っている。</p>
田辺委員	<p>通園バスの園児置き去りの事件があったので、入間市内の私立幼稚園でもマニュアルなどの見直し等を行っている。</p>
齋木議長	<p>それでは（２）の社会教育担当各課からの報告をお願いします。まず、社会教育課からお願いします。</p>
吉川課長	<p>最初に、二十歳の集いについて。成年年齢が１８歳になったことで、今年度初めて入間市二十歳の集いという形で開催する。日付については、令和５年１月９日の成人の日に産業文化センターホールで開催を予定している。今年の１月はコロナ禍ということで、入場を２分の１にして５部制にして開催したが、今年度は３部制にして開催する。式の中での変更点は、これまで親からのメッセージがあったが、これを取りやめて、二十歳のことばということで、これまで１部に対して１人だったのを各中学校区で１人で、各校から二十歳のことばをいただくように変更する。</p> <p>２点目は、人権啓発講座を、今月の２９日から５つの会場で行うので、時間があれば参加をお願いします。</p> <p>配付物としては、入間学びの場の冊子を配付させていただいた。</p> <p>今年は、市民コンサートが１０月８日に開催されるので、観覧される方は入場券をお渡しさせていただく。</p>
齋木議長	<p>次に、博物館より報告をお願いします。</p>
澤田館長	<p>今日配付した資料はアリット元気市、NEWS-ALIT 106号である。アリット元気市については、資料の４ページに記載のあるとおり、１０月９日（日）には子どもたちのお茶大使による狭山茶ぶるまい、１０日（月）には東野高校の吹奏楽部の演奏を予定しており、これは博物館と東野高校の連携の覚書から実施するものである。</p> <p>資料の（２）から（４）までについては、西洋館で実施する事業のお知らせで、西洋館ではいろいろな事業をすることで文化財への認識を持っていただく、あるいは活用につなげていく、ということで取り組みをしている。このほかにも西洋館を使った映画、テレビドラマの撮影にも使われていて若い子たちが現地を見たい、登場した舞台を見たいとお越しになるケースも増えているので、更なるPRに努めていきたい。</p>
齋木議長	<p>最後に、NEWS-ALIT の表紙については、クロスプロジェクト始動ということで記載をしている。旧黒須銀行の復元改修工事に向けた取り組みとして、入間市では初</p>

発言者	発言内容
齋木議長 平岡館長	<p>初めてのクラウドファンディング事業で財源確保に取り組んでいくもの。この事業については、広報いるま11月号で詳細を皆様にお知らせをすることになっているので、広く寄付金を募って黒須銀行の復元改修工事に着手をしていきたいと考えている。</p> <p>次に、図書館よりお願いする。</p> <p>読書週間が10月27日から11月9日までで、多くの本を読んでもらいたいということで、事業を企画している。</p> <p>1点目は、チャレンジ読書ラリー。こちらは小学生を対象としてすごろく形式にしたもので、本を楽しんでもらいたいものとして企画している事業である。</p> <p>2点目は、ブックツリーを育てよう。お子様から大人の方までを対象にしている。皆様に読んでいただいた本の感想を葉っぱに書いていただいて図書館に用意した木に貼り付けていこうという事業。読書の秋に多くの本に親んでもらえるよう図書館で企画している事業である。</p>
齋木議長	<p>ご協力に感謝する。これをもって協議・報告を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以下、余白</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和4年 9月27日

議長の署名 齋木 茂